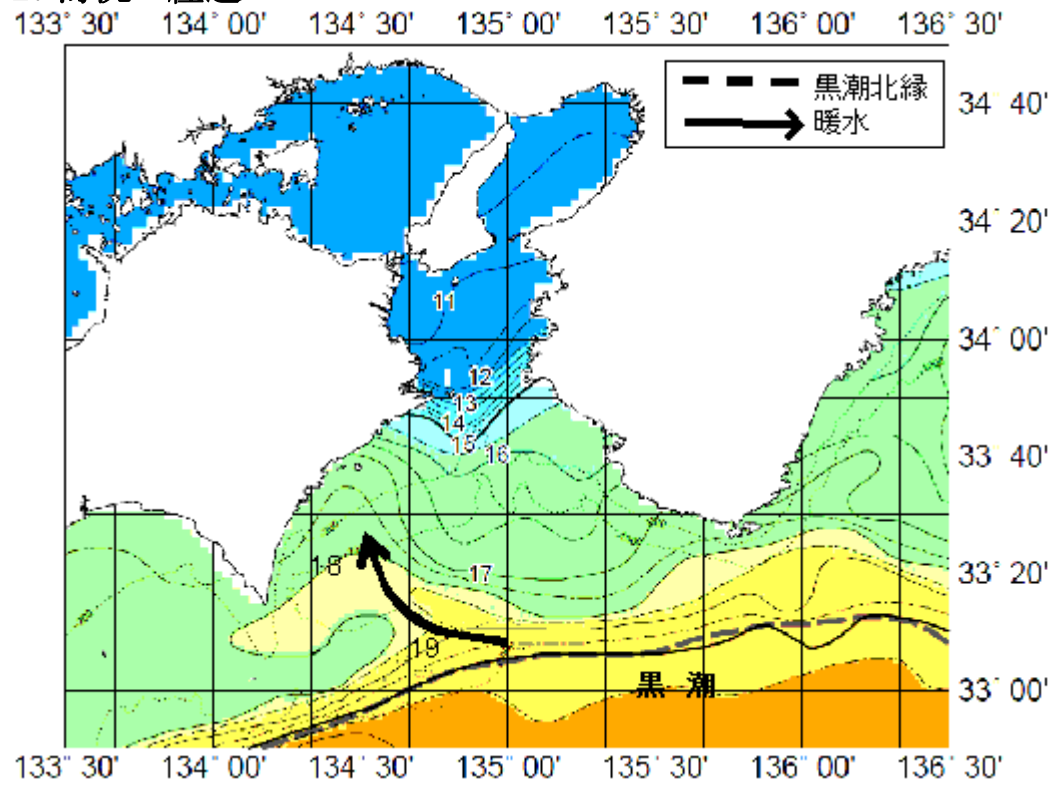


1. 海況の経過



海況

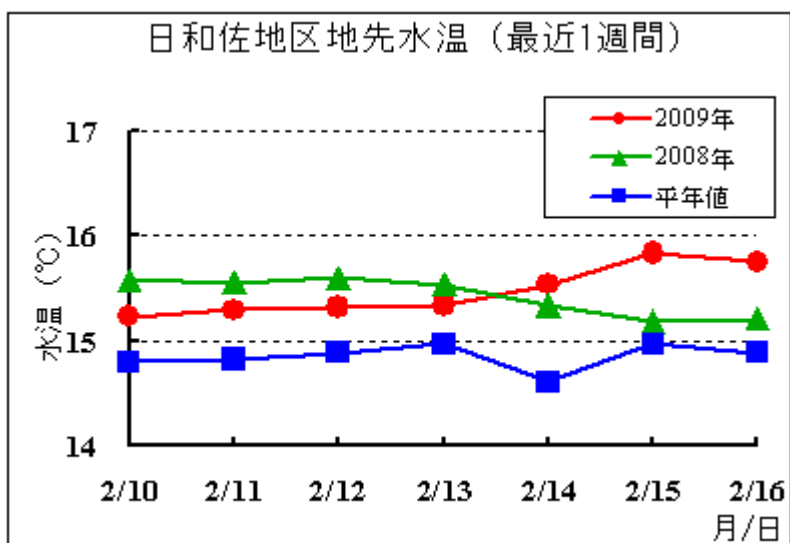
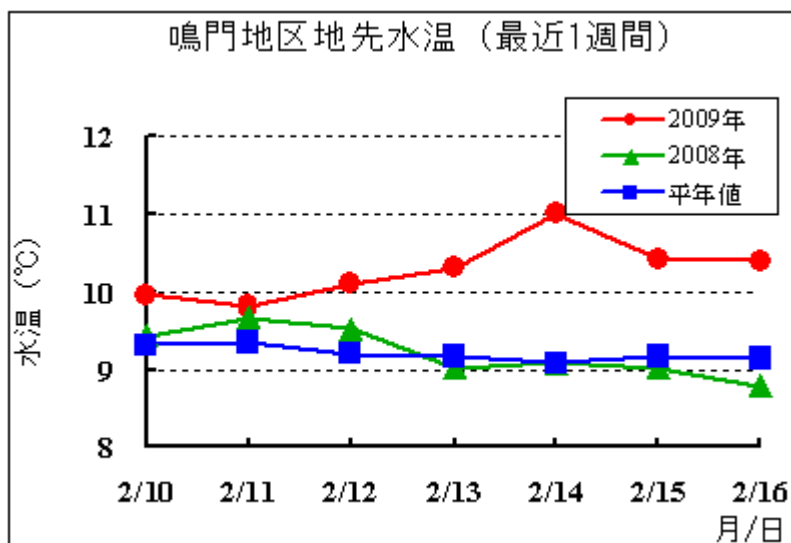
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.2.16)を示した。
 黒潮は、室戸岬沖および潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖でやや離岸、都井岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。
 表面水温は播磨灘が9℃台、紀伊水道が9～12℃台、外域が12～17℃台である。
 冷たい内海系水が、先週中頃以降、海部沿岸上灘周辺に流出している。暖かい黒潮系水は、先週以降、一時的に和歌山県側から流入したものの、現在は徳島県側から流入している。
 漁業調査船「とくしま」が2月9,10,12日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は全層で「平年並み」の11.9～13.3℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2009/02/09,10,12)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	11.9	12.0	12.3	12.6	13.3	今年値	33.4	33.5	33.6	33.7	33.9
平年偏差	0.2	0.2	-0.1	-0.1	-0.1	平年偏差	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
前年偏差	-0.1	0.0	-0.2	-0.2	0.1	前年偏差	-0.4	-0.3	-0.3	-0.3	-0.2

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の9.8～11.0℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.2～15.8℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の16.3～17.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

先週末の荒天の影響を受け、出漁回数が少なくなかった。暖水波及の影響から、タチウオの漁獲が増えている。

延縄:海部沿岸で、カワハギが0.2トン(1日1隻当たり25kg)、小主体にサバフグが0.3トン(同12kg)水揚げされた。

建網:海部沿岸で、中主体にヒラメが0.5トン(同9kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.8トン(同24kg)、大主体にカタクチイワシが1.2トン(同85kg)水揚げされた。

大型定置網:潮流の影響を受け、低調な漁模様だった。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.6トン(同6kg)、大主体にゴマサバが8.2トン(同124kg)、特大主体にマサバが1.0トン(同17kg)、タチウオが0.8トン(同94kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが1.7トン(同102kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 2月9日～2月15日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	9	224	25	
		サバフグ	24	288	12	小主体
建網		ヒラメ	57	517	9	中主体
小型定置網		アオリイカ	33	787	24	大主体
		カタクチイワシ	14	1,194	85	大主体
釣り		アオリイカ	102	591	6	大主体
		ゴマサバ	66	8,171	124	大主体
		マサバ	57	979	17	特大主体
		タチウオ	9	845	94	
		紀伊水道	タチウオ	17	1,738	102

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の10℃台、日和佐地先で「やや高め」の15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが9.8トン(1日1隻あたり14kg)、ビンナガが24.5トン(同34kg)、定置網で、マアジが1.0トン(同85kg)、釣りでサバが1.1トン(同8kg)、イサキは0.3トン(同2kg)、パッチ網でシラスが11.0トン(同257kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上